

《成人の予防接種の考え方と選択 ⑤～⑦ 2024》

〔渡航者の年齢、渡航先、渡航期間、準備期間、現地での行動、本人と企業の感染症への認識度・理解度、予防接種記録によっても異なる〕

5) 中南米・アフリカ中央部に、長期の赴任

【A】：昭和43年以前の生まれ 【B】：昭和44年以降の生まれ (MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)

接種日	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎	○	○		○	◎	◎	◎		○/◎	○				◎	□		
1週間後										○/◎		○/◎	○/◎		不足を追加			
3～4週間後		◎					◎	◎		○/◎					◎		◎	○/◎
6カ月～1年後		◎					◎	◎										
1年後										△								□
3-5年後										○								

【◎：ぜひとも(推奨) ○：できるだけ(推奨) ○/◎：地域別 □：できれば(推奨) △：希望なら】

中南米はDPTを推奨、アフリカ中央部は+IPVの4種混合を推奨。腸チフス・4価髄膜炎も推奨する。
 狂犬病(WHO式)は南米アマゾン地域とアフリカ中央部は推奨。 マラリア予防薬も同様に推奨。

6) 世界一周や途上国でのボランティア・JICA・自衛官など

【A】：昭和43年以前の生まれ 【B】：昭和44年以降の生まれ (MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)

接種日	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎		○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○				△	◎	○	
1週間後										◎		○	○	△	不足を追加			
3～4週間後		◎	○				◎	○	(◎)	◎				△	(◎)		◎	□
6カ月～1年後							◎	○										
1年後		◎								○								○
3-5年後										△								

【◎：ぜひとも(推奨) ○：できるだけ(推奨) □：できれば(推奨) △：希望なら】

①では、Tdap-破傷風-DPTを推奨。南西アジア、中東、アフリカを経由ならIPVも推奨、あるいは初めにDPT-Pを推奨。2回・3回はDPTを推奨。 ◎では、DPT-Pを推奨
 アジア経由なら日本脳炎を追加。ボランティアなど滞在型はB型肝炎も推奨。 世界一周は1カ所での滞在期間が短いので狂犬病(WHO式)を推奨。暴露後2回(3日間)。
 B型肝炎は輸入ワクチンを推奨。(A型肝炎B型肝炎混合) 髄膜炎と腸チフスは地域別で推奨。 マラリアと高山病予防薬は、地域別のリスクと行動に合わせて処方。
 ①の初回Tdapと破傷風の選択は費用による。破傷風はTdapの半額でDPTと同じ。2回目はDPTを推奨(あるいはDPT-P)。

7) 欧米先進諸国へ留学(高校生、大学生)

(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA：結核を否定する検査)

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	髄膜炎	MMRV	IGRA	インフル	ガーダシル	証明書
初日	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	□	
1週間後					不足を追加				○
3～4週間後		○	◎		(◎)				◎
2カ月後								□	
6カ月			◎					□	◎
1年後			(○補給後)						

【◎：ぜひとも(推奨) ○：できるだけ(推奨) □：できれば(推奨) △：希望なら】

北米及び西欧留学あるいは現地校への入学には、これら4種類の追加接種と検査が必要。英文証明書を持参する。
 中南米、アジア、東欧諸国への留学では、この4種類以外にそれぞれ必要な追加接種を計画する。

⇒破傷風を含むワクチンの説明・・・Tdap：成人および留学用の輸入DPTで破傷風を多く含む、DPT：DPT3種混合《破傷風ジフテリア百日咳》、DPT-P：4種混合《DPT+IPV(不活化ポリオ)》
 ⇒常備している輸入ワクチン：Tdap、A型肝炎・B型肝炎混合(Twinrix)、A型肝炎(Avaxim)、B型肝炎(EngerixB)、狂犬病(Verorab)、MMR《麻疹風疹おたふくかぜ》混合(MMRII)、
 腸チフス(Typhar,TyphimVi)、ダニ脳炎(FSME-immune)、4価髄膜炎(Niemenrix)、B群髄膜炎(Bexsero：事前要予約) 2024.11 名鉄病院予防接種センター